



アキシマン

編集 昭島市青少年委員の会
発行 昭島市子ども未来課

広報部会
昭島市田中町1-17-1

令和7年 3月発行
042 - 544 - 4326

我ら**青少年**の活動を応援します

令和6年度管外研修in秩父



ご 挨 拶

子ども家庭部子ども未来課子ども政策係長 徳世 裕二

委員の皆様方には、日頃より地域の青少年健全育成活動、学校や関係団体との連絡調整などご尽力いただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症も落ち着きをみせ、地域や学校でのイベントもコロナ禍以前に戻りつつあります。令和6年度は、市制施行70周年記念ということもあり、小学生国内交流事業の参加児童の拡充や子どもの意見聴取の取組として、小学生から24歳以下の方を対象に「居場所」をテーマに子ども・若者未来会議の開催などを行いました。イベント時には、参加してくれた子どもや若者の元気で素敵な笑顔を見ることができ、私自身も大変元気をもらうことができました。

このようにイベントも多く開催され、コロナ禍以前に活動は戻りつつある一方で、急速な少子化の進行や就業形態の多様化、スマートフォンやインターネット等の急速な普及により、青少年を取り巻く環境は複雑化し、青少年の思考や行動にも大きく影響を及ぼしてきています。

このような状況の中、未来ある子どもたちが健やかに成長し、安心して暮らすことができる社会にしていくため、行政のみならず、青少年委員や地域、学校や関係団体と連携を強化していくことが重要であります。青少年委員の皆様のご活動も、青少年を取り巻く環境の変化により難しい局面も出てくるかと思いますが、引き続き、青少年の健全育成のため、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度青少年フェスティバル開催！！

～令和6年11月24日（日）～

今年度の青少年フェスティバルは、コロナ禍前の規模に近い形で開催することができました。ご協力ありがとうございました。

開会式



開催ファンファーレ

実行委員長のあいさつ



市長といっしょに 昭島 大好き!!

空色企画

コロナ明けより2回目の開催。前回は4年ぶりの開催だったため勝手がわからず、また規模は縮小傾向で、空色企画独自イベントは行いませんでした。しかし今回はメンバーも揃い、企画代表も二年目のため段取り等滞りなくリードしてくれたので、手作りのスマートボールを稼働させることとなりました。ホコリを被って倉庫に眠っていたスマートボールを取り出しパーツを替え装飾を施しリニューアル。キレイな姿で久しぶりに子どもたちにお披露目となりました。

当日は中庭、駐車場の出店ブースもコロナ前の賑わいを見せ、空色広場でのイベントも会場の観客を巻き込んでよさこいムードに包まれました。午後から風が出て来たものの終始暖かい日差しの中、スマートボールブースは設営と同時に行列が途切れることなく大盛況、子供達の弾ける笑顔に癒されました。

空色企画代表を始めメンバーの素晴らしい働きと、前日当日のボランティアにより、大きなトラブルもなく無事に終了することができました。来年は今回の経験を生かし、更にパワーアップしてコロナ前の活気以上に盛り上がるイベントにできたらと思います。



司会の副実行委員長



小ホール企画

今回の企画テーマは「アキソニック2024～英歌発外～」と題し、中学生、および高校生による12バンドにて開催しました。小ホール企画のメンバーは6人の高校生を中心に、自らボーカル&ベースとしても出演する企画代表がリードする形で、定期テストや修学旅行といった学業が忙しい中、複数回にわたる事前説明会を含め、イベントの実施に向けた準備を協力して行えたことにより、当日は事故無くイベントを実施することができました。照明作業などを率先して行ってくれた出演者や、PAの道具運び出しなど、あたりまえに皆で手伝っている姿が、この手作りの企画の醍醐味であります。

この日のために練習し、準備した成果が、上手くいってもいなくても出演者や、裏方である実行委員にも、やり遂げた充実感として残ったと思います。本来であれば満員の会場で・・・次回は思いっきり演じていただきたい。と、少し欲張りですが願うところです。



大ホール実行委員の寄稿

大ホール企画



私は知人の紹介で青少年フェスティバルの実行委員に参加することになり、大ホールを担当することになりました。成人式の実行委員は経験したことはありましたが、青少年フェスティバルの実行委員は初めてで勝手のわからないような状態で不安でいっぱい迎えた青少年フェスティバル当日。場当たりやりハーサルで出演団体のタイムテーブルや実行委員の動きを確認していても上手く運営できるか緊張していました。しかし、他の実行委員の方がとても頼りになる方ばかりでそんな不安も忘れて実行委員の仕事が無事やり遂げることが出来ました。



実行委員に参加したことにより私自身の人脈も広がり、年上の方との関わり方やどのような経緯でイベントが開催されているのか、たくさんの事を学ぶことが出来ました。若いうちにこのような経験が出来たことは、私にとってとてもいい人生経験になったと思います。

レク企画

本年度は、外部団体に参加してもらい、コロナ渦前の企画内容に戻し行いました。

レク企画部会では、スライム作り教室、おばけ屋敷を催しました。実行委員が少ない中、子ども政策係の協力も得て、なるべくあるものを活用し、事前の準備作業も簡略に行いました。前日、当日と手伝いに中学生ボランティアに加わってもらったおかげで、大変助かりました。楽しく無事終えることができ良かったと思います。

外部団体も赤十字奉仕団、レクリエーション研究会、囲碁教室、将棋教室、あきしまカルタ、昭島マジッククラブと常連の団体が快く参加していただいたので、小学生を中心に大勢集まり盛況でした。また、初参加のガイドヘルパー体験教室では、盲導犬を連れた方が来てくださったり、ふだん実感できないことを体験しました。市内中学校作品展示は、今回二校のみの参加でしたが、大型の作品などもあり見ごたえがありました。



国内交流

平成7年度から続く国内交流事業が今年度も実施され、昭島市と岩泉町から、それぞれ25名の5・6年生が参加しました。

初めて出会う子どもたち。初めて岩泉町の皆さんと対面した際は、緊張した様子でしたが、すぐに打ち解けることができたようです。交流の中で、それぞれの地域の気候や風土、歴史の違いを学び、現地でしかできない体験を重ねるうちに、子どもたちの絆は深まっていきました。今年度は昭島市の市政施行70周年という節目でもあり、記念式典にも参加しました。式典では、お互いの街の魅力を見つめ直し、「どんな街にしていきたいか」を考え、それを発表する機会も得られました。子どもたちはしっかりと準備を重ね、充実した発表ができたと思います。

今回の交流を通じて、新しく生まれた友情と、昭島市と岩泉町のつながりが末永く続いていくことを願っています。



左 昭島市市政施行70周年
記念式典
中 ツリークライミング
右 岩泉町対面式

中学生リーダー・リーダーズクラブ

昭島市青少年委員の会では、地域のリーダー育成を目的とし、市内中学生を対象に中学生リーダー講習会を開催しております。活動として、キャンプを中心にボランティア活動や青少年フェスティバルのお手伝いと幅広く行っています。

今年度は、相模原市にある神之川キャンプ場を利用しキャンプ研修を行うために、事前研修にて計画を立てました。当日は、晴れていましたが夕方から雲行きが変わり、雷雨になりそうでしたが、大したことなく楽しい研修が出来たと思います。

翌月より、月に一回の研修を行い、ボランティア活動として青少年等交流センターを中心に昭島駅方面とデニーズ方面とに分かれてゴミ拾いを行いました。その次は、青少年フェスティバルがあり、スタッフとして各ブースのお手伝いや昭島市リーダーズクラブのブースでお菓子釣りのお手伝い。大変でしたが楽しい一日だったと思います。

最後は、クリスマス会で締めくくりです。料理を作り、会場を飾り、レクリエーションをして研修会を終了しました。

今年度の参加者が38人と多く、大変でしたが盛大にできたと思います。これを機会に、地域のリーダーとして活動してもらいたいと思っています。

キャンプ



クリスマス会

